電 波 時 計（報時付掛時計）
取扱説明書

取扱説明書番号　M330-SXXZ

○○○　特　長　○○○

標準時刻の電波を受信して毎日時刻合わせを自動的に行います。
毎正時にメロディとともに、文字板が開き、飾りが回転し、ランプが点滅します。

もくじ

発売元　**リズム時計工業株式会社**
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町１丁目299番地12
http://www.rhythm.co.jp

1. ご使用上の注意　（はじめにお読みください）

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

警告

この表示は、「**死亡または重傷などを負う可能性が想定される**」内容です。

注意

この表示は、「**傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される**」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。（表示の一例です。）

禁止

この表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。

強制

この表示は、必ず実行していただく「**強制**」内容です。

■誤飲による事故防止について

警告

小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

分解禁止

分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

注意

時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

お手入れについて

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 時計を掛けたときに、静電気により時計および壁面が汚れることがあります。定期的に汚れを落としてください。

時計の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

2. 電池のご注意　（電池の正しい使い方）

電池ご使用上のポイント　**正しく使って事故をなくしましょう。**

●プラス（+）、マイナス（−）を間違えない。	●電池を新しくするときは、全部まとめて取り替える。
●時計が動いていても定期的に交換する。	●長期間使用しないときは電池を取り外す。
●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。	●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
●幼児の手が届かないところに置く 。	

電池の種類について

●本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。**㊟アルカリとマンガン乾電池の混在使用は液もれの原因となりますのでおやめください。**

●一般に充電式乾電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

●一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。
（例．Panasonic オキシライド乾電池）

電池の廃棄

●お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

注意

火に入れると破裂の原因となり危険です。

取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。

注意

●電池に傷をつけたり、分解しない。　●電池をショートさせない。
●電池を充電しない。　●時計を使用しないときは電池を取り外す。
●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。

液もれが起きてしまったとき

警告

電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

注意

もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。
ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

●使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなることがあります。

●買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。

3. 電波時計について

電波時計とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

日本標準時をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

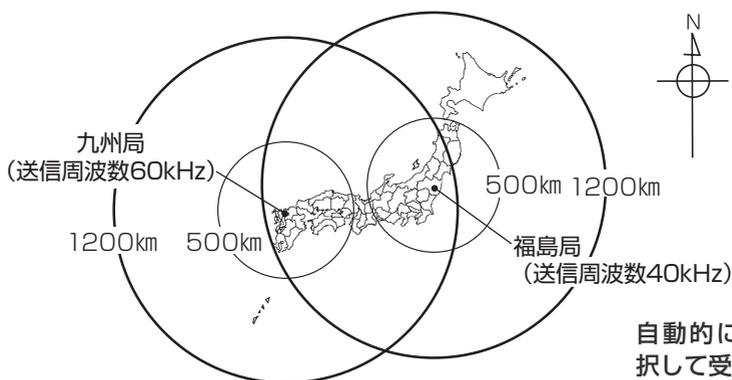
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所あります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

受信可能な範囲

送信所から約1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。

自動的に送信局を選択して受信します。

○標準電波の送信が止まることがあります

送信所の定期点検や落雷などにより送信が停止することがあります。詳しい情報は、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

○ 海外でのご使用について

この時計は日本以外の国で送信されている標準電波を受信することができません。海外でご使用になるときには、電波受信スイッチをOFFにして手動で時刻を合わせてください。電波受信スイッチをONの状態で使用すると、まれに日本の標準電波を受信して日本の標準時刻を表示したり、誤った時刻を表示することがあります。

4. ご使用場所について

この時計は標準電波を受信することにより、時刻を修正しますので、電波の受信しやすい窓際などでお使いください。

電波を受信しにくい環境について

つぎのような場所では受信できない場合や誤受信することがあります。

- ビルの地下や大型ビルの奥まった部屋など電波の届きにくいところ
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 電化製品や OA 機器の近く、またはスチール机等の金属製家具の上や近く
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき

下記のような場所では使わないでください。

機械やケース、電池の品質が低下したり、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃（50度）以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が−10℃（氷点下10度）以下になる所。（プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。）
- 浴室など、湿気の多い所。
- ほこりが多く発生する場所。（空気中のちりなどが機械部にたまって、時計が止まることがあります。）
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- テレビ･OA機器･オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。（磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。）
- 多くの油を使用する所。（霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。）
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

5. 時計の使い方

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

回転飾り
常時回転します。
明暗センサー
時針（短い針）
秒針
分針（長い針）
文字板
メロディとともに
開閉します。
受信表示ランプ
モニターボタン
音と動きを試す

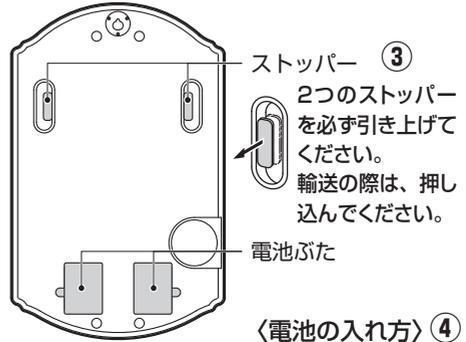
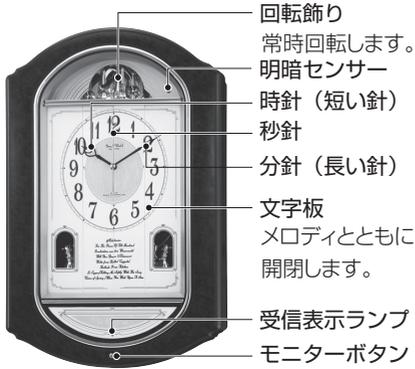
〈操作部〉

展示機能　時刻合わせ　強制受信
音量
OFF ON
電波受信
OFF A B
メロディ

⑤ 強制受信ボタン

ボリューム ②
↻：大きく
↺：小さく

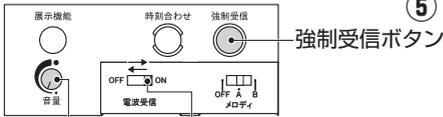
電波受信スイッチ ①

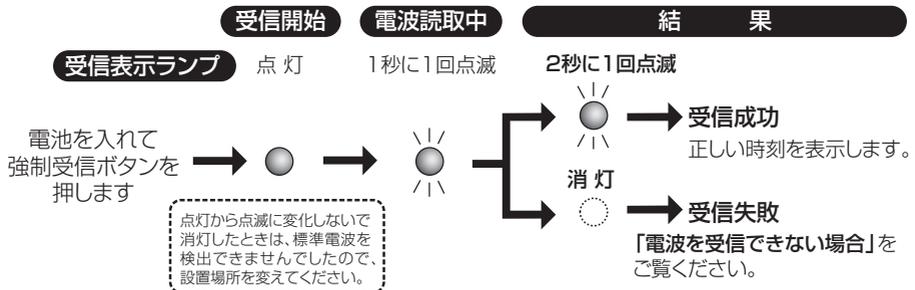
ストッパー ③
2つのストッパーを必ず引き上げてください。
輸送の際は、押し込んでください。

電池ぶた

〈電池の入れ方〉④
電池ぶたを引っ張って取り外し、左図のように電池を入れてから電池ぶたを押し込んでください。

ランプ（6ヵ所）
メロディとともに赤、橙、緑のランプが点滅

飾り
メロディとともに回転

輸送するときは、文字板を閉じた状態にしてください。

〈文字板が開いた状態〉

電波受信の流れ（受信表示ランプの見方）

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、「**8. 電波を受信できない場合**」の「**手動での時刻の合わせ方**」をお読みください。

電波を受信しやすい窓際などでお使いください。

①電波受信スイッチを ON にする

②大きな音でメロディが鳴らないようにボリュームを左に回し最小にする

③2つのストッパーを手前に引き上げる

引き上げないまま使用すると故障の原因になります。ストッパーは輸送するときの衝撃などから機構を守るためのものですので、輸送する際は、必ずストッパーを押し込んでください。

④電池を入れる

単 1 形マンガン乾電池 4 個を電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて入れます。

●すべての電池を入れなくても動き始めますが、必ずすべての電池を入れてください。

⑤強制受信ボタンを押してすぐ離す

受信表示ランプが点灯して受信を開始します。このとき針は止まったままですが、故障ではありません。

○強制受信ボタンを押している間、6 カ所のランプが点灯し、飾りや扉の動きも停止します。

○電池を入れた後は誤作動を防止するため必ず強制受信ボタンを押してください。

○強制受信ボタンを押した後は、受信が終わるまで他のボタンを操作しないでください。

⑥時計を掛けて受信が終了するまで待つ

「**7. 時計の掛け方**」(P. 9) をお読みの上、確実に時計を掛けてください。

○受信には 3 ～ 15 分程度必要です。

○受信が終了すると針が早送りで時刻を表示します。

⑦受信表示ランプで受信結果を確認する

受信成功 : 2秒に1回点滅　正しい時刻

受信失敗 : 消灯→　電波を受信できない場合　へ

受信中　: 1秒に1回点滅

○受信に失敗した場合、表示されている時刻は正確ではありません。

○受信に成功しているのに時刻が正しくないときは、ノイズにより誤受信した可能性があります。場所を変えて、強制受信ボタンを押して再度受信を試みてください。

⑧報時機能を設定する………「6. 報時機能の設定」参照

●時針・分針の動き
自動修正 : 早送りで順方向に動きます。また、停止することがあります。
通常表示 : 10 秒単位に動きます。
●秒針の動き
自動修正 : 早送りで順方向に動きます。また、12 時位置に停止することがあります。
通常表示 : 1 秒ステップで動きます。

6. 報時機能の設定

■ 報時スイッチの設定

報時スイッチを A または B にすると、毎正時に 1 曲メロディを奏でます。また、文字板が開き、飾りが動き、ランプが点滅します。

展示ボタン

ボリューム　　報時スイッチ

↻：大きく

↺：小さく

A　　　：A 群のメロディが鳴ります。
B　　　：B 群のメロディが鳴ります。
切　　　：報時を停止する。

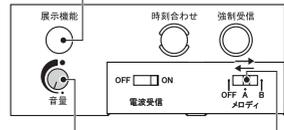
○明暗センサーにより、暗くなると報時を停止します。

○ A,B とも６曲収録されています、

○ランプが点滅しながら文字板が開き、飾りが動きます。

○曲目は時計本体に表示してあります。

※時刻とメロディの曲目は固定されていません。

※時刻合わせボタンを操作して、正時に合わせても鳴りません。
　メロディや動きを確認するときにはモニターボタンを押してください。

■ 音量調節のしかた

ボリュームを回して調節することができます。モニターボタンを押し、報時している間に音量を調節します。

■ メロディについて

○メロディの曲目は、時計裏面に表示してあります。

○曲順は変更することはできません。また、時刻と曲目は固定されていません。

■ 報時の試聴　（モニターボタン）

○モニターボタンを押すと、時刻に関係なくメロディを試聴することができます。また同時に文字板の動きやランプの点滅も確認できます。
○メロディが鳴っているときに、モニターボタンを押すと、曲目が切り替わります。
○電波受信中は、受信しやすくするためモニターボタンは押さないでください。

展示ボタンについて

展示ボタンを押すと、文字板が開いた状態になります。閉じた状態にするには、再度展示ボタンを押します。

●開いた状態でも毎正時に報時しますが、電池の消耗が早くなります。

●輸送するときは、閉じた状態にしてストッパーを押し込んで固定してください。

7. 時計の掛け方

掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

強制

注意

○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。

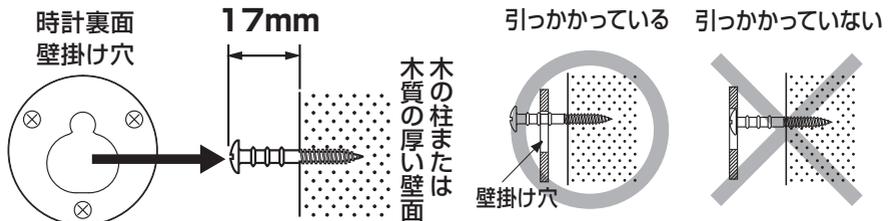
○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。

○ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

●木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

その他の壁面の場合

●石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

時計を垂直に掛けてください

時計を垂直に掛けないと回転飾りや飾りの動きが不規則になったり止まることがあります。

〈良い例〉　〈悪い例〉

8. 電波を受信できない場合

電波の受信に失敗した場合、3通りの対処方法があります。

① 翌朝まで待つ

一般的に、夜間は電波の受信がしやすくなりますので、受信できるか翌朝まで様子を見ます。表示されている時刻が大きく違っている場合は、「**手動での時刻の合わせ方**」に従い時刻合わせをして翌朝まで待ちます。翌朝まで待っても受信できない場合は、設置場所を変える必要があります。

② 時計を電波の受信しやすいところに設置

電波サーチ機能を使い受信しやすいところに設置してください。

③ 時刻を合わせて使用する

ベランダなど屋外で電波を受信させるか、手動で時刻合わせをしてからご使用ください。この場合、電波を受信できないため、時間精度はクオーツ精度になります。

※電波を受信しにくいところで使用すると、ノイズにより誤った時刻を表示するおそれがありますので、電波を受信しやすいところでお使いになるか、電波受信スイッチをＯＦＦにしてお使いになることをお勧めいたします。

手動での時刻の合わせ方

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

つぎのようなときには、針が通常の動きになってから操作してください。

○針が早送りで動いている。

○時刻合わせボタンを押しているのに時針・分針が動かない。

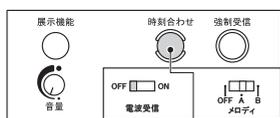
※電波受信スイッチが ON のときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

時刻合わせボタンを押すと、時針・分針・秒針が動き始めます。

○時刻合わせボタンを押して、すぐに離した場合は1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けると早送りで動きます。このとき、秒針は 12 時位置になったときに停止し、ボタンを離したときに動き出します。

秒針の動きについて

秒は、時刻合わせボタンを離したとき、”0 秒”に設定されています。秒針が早送りで動いているときに、時刻合わせボタンを離すと、そのまま早送りで現在時刻の秒位置まで動き、その後 1 秒ステップで動きます。

時刻合わせボタン

9. 電池交換時期のお知らせ機能

電池の残量が少なくなると秒針が明るいところでも12時位置で停止します。停止してから1ヵ月程度は、時分針は時刻を表示しますが、**お早めに電池を交換してください。**
※お知らせ状態になってから、時計が停止するまでの期間は、ご使用状態により変動します。
※電池を交換したときは、必ず強制受信ボタンを押してください。

電池の交換

電池からの液もれや発熱・破裂を防止するためにつぎのことをお守りください。

●時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
●時計が動いていても1年に1回定期的に交換してください。
●電池の⊕⊖の向きを正しく入れてください。

10. 電波受信スイッチ

電波受信スイッチを OFF にしますと、電波の受信を行わないで、クオーツ精度で時刻を表示します。受信できない、誤受信しやすい場所で使用する場合、意図的に表示時刻を変えてお使いになる場合などに電波受信スイッチを OFF にします。
○受信に成功した状態で、電波受信スイッチを OFF にした場合、24 時間以内は受信表示ランプが 2 秒に 1 回点滅することがあります。
○電波受信スイッチが OFF のとき、電池を入れたときや強制受信ボタンを押したときに、電波受信スイッチが ON のときと同様に受信表示ランプが点灯し、時分針および秒針が早送りしたりしますが、受信は行わずに時刻の表示になります。

11. 明暗センサーのはたらき

時計周囲の明るさを感知する明暗センサーにより、暗くなると報時や受信表示ランプの点滅を停止させます。
このセンサーは、時計を設置した場所の明るさで働くため、昼間や夜間照明時でも設置場所の光量不足により、センサーが働くことがあります。
センサーが暗いと判別した場合
○受信表示ランプ
　受信に成功して点滅している場合は消灯します。
○報時とランプの点滅
　報時スイッチが ON のときでも、報時と光の点滅を停止します。

おもな製品仕様

時　間　精　度	標準電波の受信に成功している場合（受信直後） 　表示精度　秒針　±１秒以内 　　　　　　時針・分針　目盛に対して±３度以内 標準電波を受信しない場合 　平均月差　±２０秒以内（常温中のクオーツ精度）
報　時　精　度	表示時刻に対して±１秒
使用温度範囲	−10～+50℃
使　用　電　池	単1形マンガン乾電池（JIS 規格　R ２０）４個
電　池　寿　命	約１年　音量中位で1日に17回報時
自動受信回数	•受信に成功している場合　１日最少１回最多３回 •受信に失敗している場合　１日 12 回受信（最多）
そ　の　他	•標準電波受信による時刻修正　•４0/60kHz 自動選択 •受信表示ランプによる受信成功／失敗表示 •電波受信 ON/OFF 切り替え •報時機能　音量調節、夜間自動停止 •明暗センサーによる秒針停止 (眠る秒針） •電池交換時期お知らせ機能

※電池寿命は、電波の受信に成功し、明暗センサーにより 1 日 7 時間秒針が停止しているときのものです。
※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品

単１形マンガン乾電池　４個　取扱説明書　本書　保証書　１枚

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品（電子回路·歯車等）は製造打ち切り後、７年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース·文字板等）の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

お問い合わせ先

お問い合わせの際は、製品番号（型番）「４MN497」をお伝えください。

お客様相談室　フリーダイヤル **0120−557−005**
受付時間 9:00 ～ 17: ００（土日、祝日および当社休日を除く）

(Y0809)